

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成20年4月3日(2008.4.3)

【公表番号】特表2003-532735(P2003-532735A)

【公表日】平成15年11月5日(2003.11.5)

【出願番号】特願2001-582349(P2001-582349)

【国際特許分類】

C 07 D 491/048 (2006.01)

A 61 K 31/519 (2006.01)

A 61 P 31/12 (2006.01)

【F I】

C 07 D 491/048

A 61 K 31/519

A 61 P 31/12

【手続補正書】

【提出日】平成20年2月13日(2008.2.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

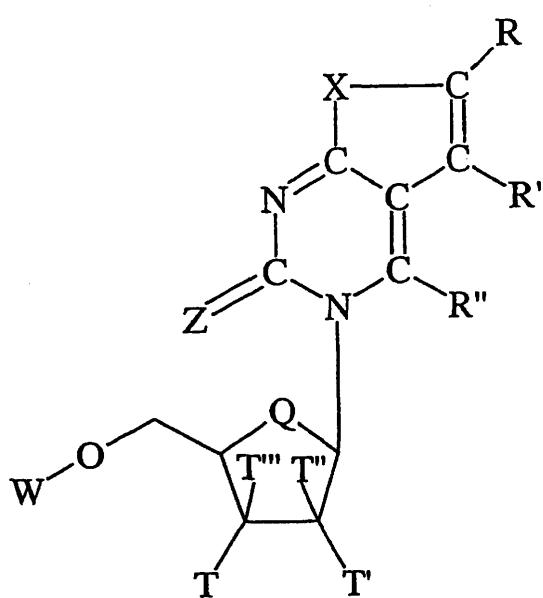
【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】式:

【化1】



(式中

Rは任意に置換されたC<sub>5</sub>～C<sub>20</sub>アルキル、及び任意に置換されたC<sub>5</sub>～C<sub>20</sub>シクロアルキルを含む群より選択され；

R'は水素、アルキル、シクロアルキル、ハロゲン、アミノ、アルキルアミノ、ジアルキルアミノ、ニトロ、シアノ、アルキオキシ、アリールオキシ、チオール、アルキルチオール、アリールチオール、アルキルを含む群より選択され；

R''は水素、アルキル、シクロアルキル、ハロゲン、アルキルオキシ、アリールオキシ

及びアリールを含む群より選択され；

QはO、NH、S、N-アルキル及びCY<sub>2</sub>を含む群より選択され、ここでYは同一又は異なりH、アルキル及びハロゲンから選択され；

XはO、NH、S、Se、N-アルキル、(CH<sub>2</sub>)<sub>n</sub>(ここでnは1～10)、及びCY<sub>2</sub>を含む群より選択され、ここでYは同一又は異なり、水素、アルキル及びハロゲンから選択され；

ZはO、S、NH、及びN-アルキルを含む群より選択され；

TはH、ハロゲン、アルキル(C<sub>1</sub>～C<sub>10</sub>)、O-アルキル(C<sub>1</sub>～C<sub>10</sub>)、N<sub>3</sub>及びCNを含む群より選択され；

T'はH、ハロゲン、O-アルキル(C<sub>1</sub>～C<sub>10</sub>)、N<sub>3</sub>及びCNを含む群より選択され；

又はT及びT'は共同で-O-、-NH-及び-(CH<sub>2</sub>)<sub>p</sub>-(ここでpは1～6の整数)を含む群より選択されるブリッジを形成し；

T''はH、OH、ハロゲン、N<sub>3</sub>及びCNを含む群より選択され；

T'''はH、OH、ハロゲン、N<sub>3</sub>及びCNを含む群より選択され；

又はT''及びT'''は共同で-O-、-NH-及び-(CH<sub>2</sub>)<sub>p</sub>-(ここでpは1～6の整数)を含む群より選択されるブリッジを形成し；

又はT及びT'''は共同で=CH<sub>2</sub>を形成し；且つ

WはH、ホスフェート基及びホスホネート基を含む群より選択される)で表される化合物、及び薬理学的に許容し得るその塩、誘導体又はプロドラッグ。

【請求項2】Rが直鎖アルキル基である請求項1記載の化合物。

【請求項3】Rが非置換アルキル基である請求項1又は2記載の化合物。

【請求項4】RがOH、ハロゲン、アミノ、CN、COOH、CO<sub>2</sub>アルキル(C<sub>1</sub>～C<sub>5</sub>)、CONHアルキル(C<sub>1</sub>～C<sub>5</sub>)、O-アルキル(C<sub>1</sub>～C<sub>5</sub>)、SH、S-アルキル(C<sub>1</sub>～C<sub>5</sub>)、NO<sub>2</sub>及びアリール(5～12環原子)を含む群より選択される一員で置換され、前記アルキル(C<sub>1</sub>～C<sub>5</sub>)及び前記アリール部分はそれぞれ任意に置換される請求項1又は請求項2記載の化合物。

【請求項5】好ましくは直鎖である前記アルキル(C<sub>1</sub>～C<sub>5</sub>)部分上の置換基が、OH、ハロゲン、アミノ、CN、SH及びNO<sub>2</sub>を含む群より選択され、好ましくはハロゲンである請求項4記載の化合物。

【請求項6】前記アルキル部分がC<sub>2</sub>～C<sub>5</sub>であり、前記置換基が末端位に位置する請求項5記載の化合物。

【請求項7】RがO-アルキル(C<sub>1</sub>～C<sub>5</sub>)で置換され、前記アルキル部分が好ましくはC<sub>4</sub>であり任意にハロゲン、好ましくは塩素で置換される請求項4～5のいずれか1項記載の化合物。

【請求項8】前記アリール部分上の置換基がOH、ハロゲン、アミノ、CN、SH、NO<sub>2</sub>、及びC<sub>1</sub>～C<sub>10</sub>アルキルを含む群より選択され、ここでC<sub>1</sub>～C<sub>10</sub>アルキル部分は任意にOH、ハロゲン、アミノ、CN、SH、及びNO<sub>2</sub>を含む群より選択される一員で置換された請求項4記載の化合物。

【請求項9】Rが直鎖アルキル基であり末端位で置換される請求項1、2及び4～8のいずれか1項記載の化合物。

【請求項10】RがC<sub>7</sub>～C<sub>13</sub>アルキル基である、前記請求項のいずれか1項記載の化合物。

【請求項11】RがC<sub>8</sub>～C<sub>12</sub>アルキル基である請求項10記載の化合物。

【請求項12】RがC<sub>9</sub>アルキル基である請求項11記載の化合物。

【請求項13】R'及びR''がそれぞれHである前記請求項のいずれか1項記載の化合物。

【請求項14】QがOである前記請求項のいずれか1項記載の化合物。

【請求項15】XがOである前記請求項のいずれか1項記載の化合物。

【請求項16】ZがOである前記請求項のいずれか1項記載の化合物。

【請求項17】TがHである前記請求項のいずれか1項記載の化合物。

【請求項18】T、T'、T''及びT'''のそれぞれがHである前記請求項のいずれか1項記載の化合物。

【請求項19】3-[2',3'-ジデオキシ-リボ- -D-フラノシリル]-6-n-ヘキシリル-2,3-ジヒド

ロフロ[2,3-d]ピリミジン-2-オン；

3-[2',3'-ジデオキシ-リボ- -D-フラノシリ]-6-n-オクチル-2,3-ジヒドロフロ[2,3-d]ピリミジン-2-オン；

3-[2',3'-ジデオキシ-リボ- -D-フラノシリ]-6-n-ノニル-2,3-ジヒドロフロ[2,3-d]ピリミジン-2-オン；

3-[2',3'-ジデオキシ-リボ- -D-フラノシリ]-6-[9-ブチルオキシノニル]-2,3-ジヒドロフロ[2,3-d]ピリミジン-2-オン；

3-[2',3'-ジデオキシ-リボ- -D-フラノシリ]-6-[9-(4-クロロブロトキシ)ノニル]-2,3-ジヒドロフロ[2,3-d]ピリミジン-2-オン；

3-[2',3'-ジデオキシ-リボ- -D-フラノシリ]-6-n-デシル-2,3-ジヒドロフロ[2,3-d]ピリミジン-2-オン；

3-[2',3'-ジデオキシ-リボ- -D-フラノシリ]-6-n-ウンデシル-2,3-ジヒドロフロ[2,3-d]ピリミジン-2-オン；

3-[2',3'-ジデオキシ-リボ- -D-フラノシリ]-6-n-ドデシル-2,3-ジヒドロフロ[2,3-d]ピリミジン-2-オン；

3-[2',3'-ジデオキシ-リボ- -D-フラノシリ]-6-n-テトラデシル-2,3-ジヒドロフロ[2,3-d]ピリミジン-2-オン；

及びこれらの混合物を含む群より選択される請求項1記載の化合物。

【請求項20】 請求項1~19のいずれか1項記載の化合物を調製する方法であって、5-ハロヌクレオシド類が末端アルキンと触媒の存在下接触するか、又は5-アルキニルヌクレオシドが触媒の存在下環化する方法。

【請求項21】 治療の方法における使用のための請求項1~19のいずれか1項記載の化合物。

【請求項22】 ウィルス感染の予防又は治療のための医薬の製造における請求項1~19のいずれか1項記載の化合物の使用。

【請求項23】 ウィルス感染がサイトメガロウィルス感染である請求項22記載の使用。

【請求項24】 ウィルス感染の予防又は治療における使用のための医薬の製造における請求項1~19のいずれか1項記載の化合物。

【請求項25】 ウィルス感染がサイトメガロウィルス感染である、請求項24記載の化合物。

【請求項26】 請求項1~19のいずれか1項記載の化合物を、薬剤学的に許容しうる賦形剤と組み合わせて含む薬剤組成物。

【請求項27】 請求項1~19のいずれか1項記載の化合物と、薬剤学的に許容しうる賦形剤とを合わせる工程を含む薬剤組成物を調製する方法。